2026年　運転者の年間教育計画

月	教　育　題　目	教　育　内　容
1	安全第一	無事故を目指して
	車両管理の強化	運行前点検の確実な実施
	トラックを運転する心構え	運送事業は公共的な輸送事業であり、 貨物を安全、確実に輸送することが社会的使命である。 交通事故統計を活用し事故の影響の大きさを理解する。
2	安全第一	無事故を目指して
	寒冷期における　運転事故未然防止	積雪、降雪、凍結道路での安全運転
	トラックの運行の安全を確保する為に 遵守すべき基本的事項	事業法に基づき、運転手が遵守すべき事項及び 交通ルール等を理解する。 規定に基づく日常点検の実施及び適切な運転姿勢での運転の 重要性、それを怠ったことによる事故が発生した際に 事業者及び運転者が受ける罰則、処分、措置及び 交通事故が加害者等に与える心理的影響を確認する。
3	安全第一	無事故を目指して
	年度末繁忙期における事故対策及び体調管理	交通量、輸送量の増加に伴う事故発生防止　自己管理
	トラックの構造上の特性	トラックの車高,視野、死角、内輪差及び制動距離等が 他の車輌と異なることを理解する。 トレーラーを運転する際に留意すべき事項及び貨物の 特性理解した運転を理解する。
4	安全第一	無事故を目指して
	GWの道路状況予測と対策　繁忙期の事故防止	渋滞ポイント確認、迂回路情報共有　自己管理
	貨物の正しい積載方法	偏荷重が生じないような貨物の積載方法及び運搬中に 荷崩れが生じないような貨物の固縛方法を理解する。 軸重違反を防止するための積載方法を理解する。
5	安全第一	無事故を目指して
	過労運転による事故防止	過労運転の防止と自己管理
	過積載の危険性	偏荷重が生じないような貨物の積載方法及び 運搬中に荷崩れが生じないような貨物の 固縛方法を理解する。 法令に基づき荷主が遵守すべき事項事、運転者が受ける 過積載に対する罰則、処分、措置を理解する。
6	安全第一	無事故を目指して
	雨天時の交通事故防止	雨天時のスリップ事故事例研究 運転前点検（タイヤの磨耗、ワイパーの確認等）
	危険物を運搬する場合に留意すべき事項	
7	安全第一	無事故を目指して
	子供との事故防止	夏休み中の学童を事故から守る
	乗務員の意識改革	運転、作業に対する意識の確認 取引先様への対応　心得
	適切な運行の経路及び当該経路における道路 及び交通の状況	運送事業に係る主な道路及び交通の状況を把握させ、 これらの状況を踏まえ、トラックを安全に運転する ために留意すべき事項を理解する。
8	安全第一	無事故を目指して
	お盆の道路状況予測と対策　繁忙期の事故防止	渋滞ポイント確認、迂回路情報共有　自己管理
	危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法	悪天候、内輪差、視界の制約及びジャックナイフ現象 等のトラックの運転に関して生ずる様々な 危険についての理解と、必要な技能を修得する。 注意喚起手法として指差呼称及び安全呼称を活用する。 降雪が運転に与える影響、緊急時における適切な 対応を理解する
9	安全第一	無事故を目指して
	秋の交通安全運動の推進	本運動の趣旨及び実施事項の周知徹底
	運転者の運転適性に応じた安全運転	適性診断の結果に基づき、個々の運転者が 自らの運転行動の特性を自覚する。
10	安全第一	無事故を目指して
	ゆとり運転の励行	ゆずりあい運転と『お先にどうぞ』運転の励行
	交通事故に関わる運転者の生理的 及び心理的要因及びこれらへの対処方法	過労及び飲酒等の生理的要因ならびに慣れや 運転技能への過信による集中力の欠如等の 心理的要因が交通事故を引き起こす恐れがあることを 理解する。また、運転中に疲労や眠気を感じたときは 運転を中止し、休憩又は睡眠をとることを理解する。 医薬品の使用等による眠気及び飲酒の生理的要因による 事故の可能性を理解する。規定に基づき運転者の勤務時間 及び乗務時間を定める場合の基準を理解する。
11	安全第一	無事故を目指して
	燃費節約運転の励行	社速厳守徹底　燃費表を参照し各自分析
	安全輸送意識の向上	積み付け時のラッシング保護用具について
	健康管理の重要性	疾病が交通事故の要因となるおそれがあることを理解し 適正な健康管理を行うことの重要性を認識する。 ストレスチェック等に基づき精神面の健康管理の重要性を 理解する。
12	安全第一	無事故を目指して
	年末・年始自動車輸送安全総点検の推進	総点検実施事項の周知徹底
	繁忙期の自己管理	体調管理・疲労・過労
	安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の 適切な運転方法	安全性の向上を図るための装置を使用した場合の適切な運転方法を 理解する。

無事故・エコドライブを目指しましょう